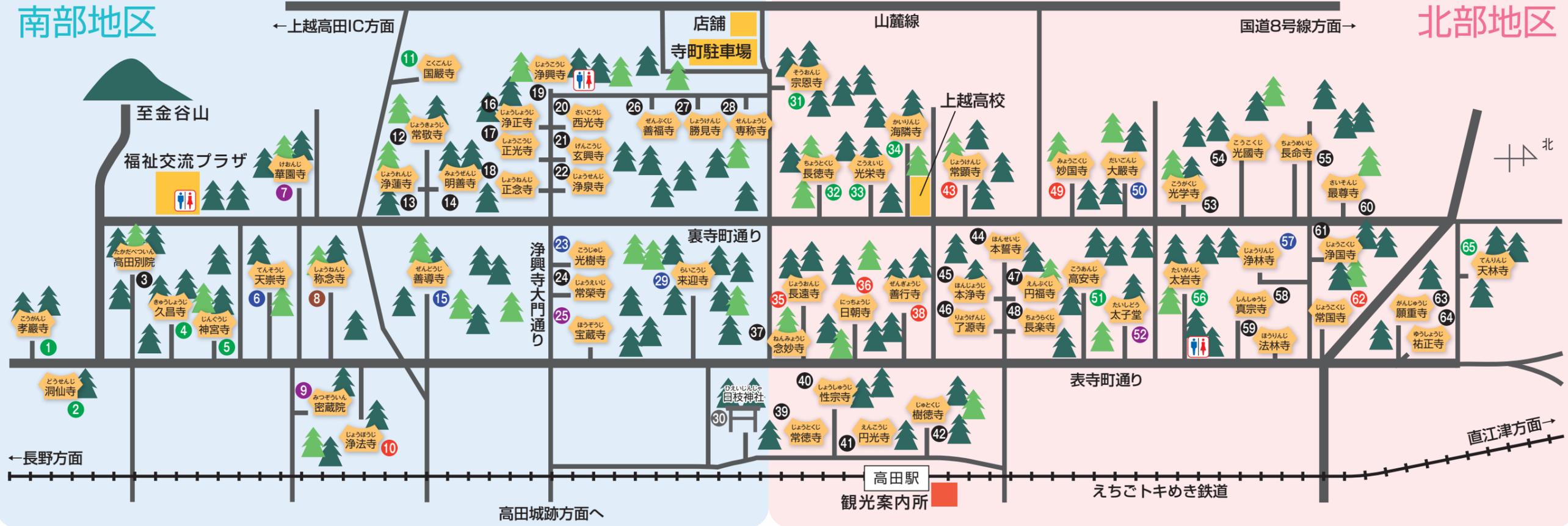


南部地区

北部地区



高田寺町界限 寺院神社散策マップ

令和6年11月
改訂版

番号	寺院名	南部地区／寺院社寺ワンポイントアドバイス
1	孝巖寺	長野県飯山の創立で、福島城下を経て、現在の高田城下に移ったと言われています。春には椿、夏には百日紅（さるすべり）等の素晴らしい景観が、お寺を訪れる皆様の心を癒します。
2	洞仙寺	慶長16年に高田寺町に創立され、それ以来400年の間、地域の皆さんに信仰され現在に至っています。
3	高田別院	真宗大谷派の別院。江戸時代に建立された山門は、総檜の単層入母屋造りで上越地方最大級です。十二支や中国の故事にちなんだ彫刻が見事で、本堂・鐘楼と共に国指定登録有形文化財認定です。
4	久昌寺	山門を入り松並木を進むと、畳屋根と正面の祀、花頭窓の格子があります。参道の両脇に並ぶ石仏、熊笹が参拝者を迎えてくれます。
5	神宮寺	松の木立の静寂な境内の本堂創建当時に敷かれた石畳の参道を進むと、心静かに六地藏を拝むことができます。
6	天崇寺	上杉謙信の創建といわれ、高田姫、初代高松宮好仁親王妃の墓があります。天明地藏が祀られ、山門は市文化財に指定されています。
7	華園寺	落ち着いた山門と新装なった本堂とがマッチして景観をなしています。「義経記」に源義経ゆかりの寺院と記されています。
8	称念寺	上越市で唯一の時宗の寺です。国指定重要文化財の一級上人倚像（遊行六代、称念寺開山）が安置されています。格天井には三条市出身の絵師 五十嵐華亭の作、約3メートル四方の墨龍図があります。
9	密蔵院	米山寺の里坊として創建され、「馬出薬師」と呼ばれました。境内には、四国八十八カ所をここからお参りする遙拝塔などがあります。
10	浄法寺	山門を入ると左側に、高田藩士安藤仲氏の寄進による線刻の加藤清正像碑がある。清正公は日蓮宗の大檀越でした。
11	国巖寺	境内には椿の立木が多く、周りに建物が少ない、一日中日が当たり、五輪塔の中には開祖仏元の守り本尊である善光寺如来が中に納められている。地藏様が参拝者を迎えてくれます。
12	常敬寺	親鸞上人直孫唯善（ゆいぜん）上人開基（弘安7年、1284年）で、「赤門さん」の名前で広く親しまれています。
13	浄蓮寺	境内地は、「緑陰の小庭」と名付けられ、四季折々の木々、宿根草、草花で彩られ、小さな池には水音の中金魚が泳いでいます。
14	明善寺	赤門の右手に位置します。春先にはフランスギクが咲き誇ります。
15	善導寺	「高田の大きなものは善導寺の仁王さん」として有名。境内には龍神の井戸や、高田藩家老小栗美作の墓があります。
16	浄正寺	長野県松本市に端を発し500年以上の歴史を持ち浄興寺の塔頭として共に寺地をかえて来たお寺です。寺紋は楯扇。永く留まった新井生差塚の自然石を入口に鎮座させ秋は紅葉が真紅に染まります。
17	正光寺	よく手入れされた庭と、緑の木々の中に本堂が見られます。
18	正念寺	参道にはよく手入れされたサツキがあり、境内には花が咲く木々が植えられ、四季を感じさせてくれます。
19	浄興寺	開山は親鸞聖人、真宗浄興寺派の本山です。平成の大修理を終えた本堂は県内の寺院建築では最大かつ最古で、国重要文化財です。
20	西光寺	本堂西側の参道に植えられているブナの木が涼しげに葉をそよがせています。
21	玄興寺	本堂から奥裡にかけて敷石があります。
22	浄泉寺	上杉家の家臣宗誓が開基のお寺です。手植えの花が美しく咲いています。
23	光樹寺	大きな松が目に入ります。その入り口では、如意輪観音様の石碑が私たちをお出迎えくださいます。
24	常榮寺	ツツジの生垣に囲まれ、閑静な境内は草花が植えられていて、木々の間からそびえる鐘楼が観られます。

25	宝蔵寺	寺町では唯一の真言宗智山派の寺院です。姫路から移ったといわれ、昔は「金蔵寺さん」と親しまれたそうです。
26	善福寺	境内の杉の木と奥庭の竹林が静かな落ち着いた雰囲気をかもし出しています。樹間から透れる光の陰影が美しい。
27	勝見寺	もみじの木々が真紅に彩る秋の境内が見事です。
28	専称寺	椿の咲くころ、境内に入ると花の香りが芳しく、緑と花の色のコントラストが美しい。門脇の「春雨」は名木です。
29	来迎寺	重厚な山門、石畳の参道、樹木に囲まれた境内は、落ち着いた静寂なたたずまいをなし、木立の中に証空の供養塔があります。
30	日枝神社	境内には菅原神社ほか9社が鎮座しています。ほかに、みこし殿、手水舎もあります。本殿正面の額の書は、14代藩主榊原政敬公によります。

番号	寺院名	北部地区／寺院社寺ワンポイントアドバイス
31	宗恩寺	つつじ、あじさい、梅、桜、椿、かえでなどが四季を楽しませてくれます。釈迦が覚りを開いた天竺菩提樹の株分けの孫木があります。
32	長徳寺	上杉謙信の母が寄進したと伝えられる「まます地蔵」があり、「賽の河原」で金棒を握った石の鬼や、小石、泣く子の像もあります。
33	光栄寺	境内には四季桜が一本あり、閑静なたたずまいが印象的です。上越茶道界に知られる榊原家茶頭・荒井宗二の碑があります。
34	海隣寺	天正2年上杉謙信公の帰依を受け開創され450年の法灯が続いています。広い境内には宝歴大地震の殉難者供養塔が建っています。
35	長遠寺	うっ蒼と茂る杉木立の静寂な空間は、俗世との結界を感じさせます。日本銀行を設計した長野野平治の墓があります。
36	日朝寺	スギゴケの緑が映える境内、早春の枝垂れ桜が美しい。日蓮を出迎えた精緻な毘沙門天縁起の絵馬が残されています。
37	念妙寺	平成22年に移転しました。寺町通りに面した瀟洒な建物が目印です。
38	善行寺	越後騒動の主役となった永見家の菩提寺で、その家族の墓が現存しています。お寺の本堂については寺町寺院群の中で最も古い本堂とされています。境内のアジサイの花も有名です。
39	常德寺	本堂より高田駅に出入りする電車が見える、明るなお寺です。
40	性宗寺	「親鸞聖人御旧跡」で真宗佛光寺派の旧和木御坊のお寺です。「大逆事件」の弁護士であり、歌人としても有名な平出修の墓所があります。
41	円光寺	境内地にはたくさんの草花が植栽されており、通行人の目を楽しませています。
42	樹徳寺	高田駅裏口の眼前に佇むお寺です。本堂周りの桃の花や紅葉が季節を楽しませてくれます。
43	常頭寺	山門をくぐると厳肅な杉並木や秋には萩の花が境内を包みます。本堂内の廊下は漆で施され、まるで水鏡のようで心が洗われます。
44	本誓寺	高田寺町・北部寺院の中では最大の木造建築の本堂。広い境内には由緒ある寺歴に沿うようにイチョウの大木が生い繁っています。
45	本浄寺	落ち着いた本堂正面の屋根の張り出した部分に彫られた龍はまるで生きているかのように感じられます。
46	了源寺	本誓寺さんの参道に入り左手一番目、本堂の壁の色はオレンジ色です。
47	円福寺	本誓寺の参道の右手に石堀に囲まれ、初夏には紫と白のアヤメの花が、秋には萩の花が咲き誇ります。

48	長楽寺	木堀で囲まれ、本堂には中国の故事にもとづく精緻な浮彫があり、木彫と白壁とが見事に調和した寺院です。
49	妙国寺	杉並木の参道・銀杏の大木と自然な草木・竹林の中に、瓦屋根と向拝の均整のとれた本堂があります。山岡太夫（山椒太夫）の墓も必見。春は花、夏は緑の木陰、秋は黄色い絨毯がみごと。
50	大巖寺	杉並木と5月中旬頃満開になるツツジの参道は通称二河白道といい、お釈迦様の極楽浄土詣りのたとえ風景として喜ばれています。
51	高安寺	重厚な山門が目立つお寺で、芭蕉が元禄2年に濱之観音を参拝して休んでいかれました。境内には杉苔、森青蛙の産卵地あり、観音清水が湧き出ています。
52	太子堂	無住ですが、聖徳太子像を祀る太子堂です。
53	光学寺	本堂の裏にあるあでやかなしだれ桜が、短い春を楽しませてくれます。
54	光國寺	木々の間をまっすくに伸びる参道を進むと、島地雷音が輝電した「光國精舎」の扁額が目に入ります。
55	長命寺	1816年に竣工された本堂は築後200年を超えました。境内の花々が四季の訪れを告げ、鳥や蝶が遊びに来ています。
56	太岩寺	山門をくぐると20数体の地藏菩薩。その隣には閻魔堂があり、「太岩寺の閻魔様」は眼光鋭く、人間界を見据えておられます。
57	浄林寺	石橋を渡り、石畳の参道に入ると高い生垣に囲まれた庭園があり、一人瞑想にふけりたい…そんな静寂がある寺院です。
58	真宗寺	そここに設けた腰掛に座り、足を休めてのんびりと心ゆくまでお寛ぎください。春は枝垂桜、夏は百日紅に桔梗、秋は多くの紅葉が皆様のお越しをお待ちしております。
59	法林寺	庫裡の玄関先に雪国には珍しい南天の生垣があり、冬にはたわわに赤い実をつけます。住職手書きの掲示板にも独特の趣があります。
60	最尊寺	寺町寺院には数少ない手水舎（ちようずや）が参道左手にあり、上に刻まれた「慈悲」の文字が温かく迎えてくれます。
61	浄国寺	本堂に向かって敷かれた石畳の参道と新緑、花期、紅葉と見どころの多いドウダンツツジの生垣、そして左手にある鐘楼が落ち着いた風情を感じさせます。
62	常国寺	門前が三叉路になっていたことから「みつね常国寺」と呼ばれ親しまれています。境内には四季折々の花が植えられた手作りの庭があります。
63	願重寺	石橋を渡り山門をくぐると本堂が見えてきます。境内一杯に植栽された紅葉やイチョウの大木。秋にはすばらしい眺めです。
64	祐正寺	「ツツジに誘われて境内に入ると、宝篋印塔が凛として建っています。碑文「土橋村発祥之地」は、日本画家・小杉放庵による揮毫です。
65	天林寺	牡丹の美しい寺院です。高田醫女の心のよりどころでした。全国で一カ寺の醫女寺です。聖観音像、二十三夜塔が建っています。

※番号の赤字は日蓮宗、青字は浄土宗、黒字は浄土真宗、緑色は曹洞宗、紫色は真言宗、茶色は時宗、銀色は神社

■お問い合わせ
 上越市魅力創造課 TEL.025-526-5111
 高田駅前観光案内所 TEL.025-521-5140
 制作協力 寺町まちづくり協議会

寺町をめぐる時に知っておきたいポイント

寺町と高田城の関係って？

敵から高田城を守るために
塀として寺町がつけられました。
寺町のほぼ全ての寺の門が
高田城の方に向いています。

全長2kmにわたって約65軒の寺社が
2本の通りに並んでいます。



高田城

松平忠輝公



寺町と徳川家の関係とは!?

高田城の初代城主は松平忠輝公。
まつだいらただてるこう

松平忠輝公は徳川家康公の六男です。
とくがわいえやすこう

そのため、寺町と徳川家とのつながりが深くなりました。

寺町には徳川家の家紋である三つ葉葵の紋が
ある寺があります。ぜひ探してみてください。



三つ葉葵の紋

きらめき発掘! 寺町の魅力大発見!!

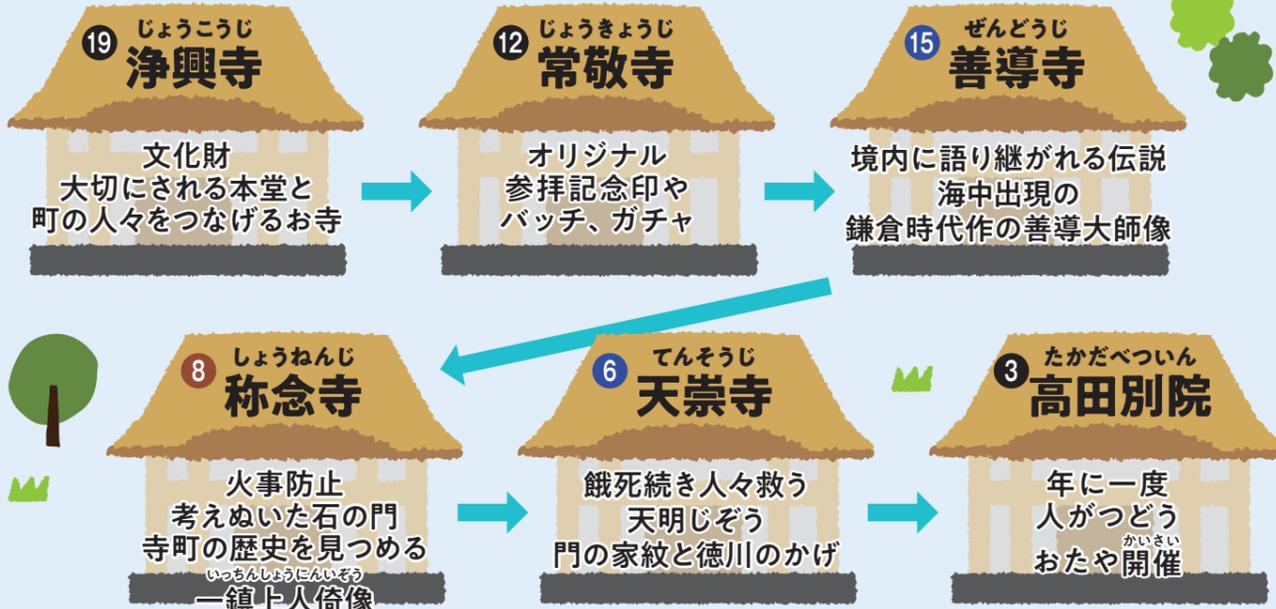
きらめき学年
オリジナル
寺町かるた



文化財をめぐる南ルート

そうだ! 寺町に行こう!

歴史と自然をめぐる北ルート



きらめき
おすすめ
めぐると



寺町の「てらぼー」



他にも魅力のある寺がたくさんあります。

ぜひ足を運んでみてください。

令和元年度 大手町小学校 6年生
きらめき学年 作成